

# 稲吟OB会会報

No. 36



**吟** 在早稻田  
早稻田大学稲吟OB会

稲吟OB会の夏号をお届けします。今号では、夏合宿や発表会の情報についての最新情報をお知らせします。8月25日に開催されるOB会と稲吟会の交流行事についてもご案内します。第57代幹事長、木嶋孝幸さんのもと活発に活動する稲吟会会員の諸君からのメッセージ、そして海外で活躍するOBの近況をご紹介します。

## ■目次■

巻頭言 人と人の輪をつなげよう.....	1
News Flash	
稲吟会発表会は11月10日(土)、学内にて開催.....	2
OBと学生の交流の場、今年も8月25日に開催.....	2
稲吟会の夏合宿、今年は伊豆・相模屋で開催.....	3
頑張ってます！ 稲吟会だより	
幹事長、奮戦中！ .....	4
皆がいて楽しい稲吟会に！ .....	4
詩吟との僥倖の出会い .....	5
OB近況	
Boston life .....	6
事務局から	
会員近況情報（会員名簿更新情報） .....	8
会費納入にご協力ください.....	8
編集後記.....	9

## ■表紙解説

「大隈錯視」をご存じですか。表紙の写真を見ると、少しだけカメラを傾けた状態で撮影されたため、写真全体が右下がりになっています。このとき、大隈講堂については傾きを強く感じるものの、大隈銅像については傾きをあまり感じません。この錯視は早稲田大学の研究チームにより報告され、2011年度の第3回錯視コンテストでグランプリを獲得しました。詳細は以下のURLをご覧ください（<http://www.psy.ritsumeai.ac.jp/~akitaoka/sakkon/sakkon2011.html>）。

## 人と人の輪をつなげよう



稲吟OB会会長 大竹茂行 (平3)

「花に嵐のたとえもあるさ さよならだけが人生さ」…皆様ご存知の通り9世紀の唐の詩人、于武陵の5言絶句「勸酒」に井伏鱒二がつけた訳です。ここのところのOB会執行部はまさにそのような状況でした。前会報でもお伝えした通り、OB会事務局は事務局長の菅原君(平成4年)が札幌に転勤、後任の田口君(平成6年)も事務局長就任直後、1年間の期限付きではありますがアメリカ転勤の辞令が下り、5月に彼の地へ旅立ちました。また現役担当の片山君(平成18年卒会)も菅原君の後を追うように札幌に転勤となりました。

しかし「さよならだけ」ではありませんでした。菅原君の前任として事務局の仕事を長らく務めてくれた高橋君(平成4年)が事務局長代理を、また現役担当は中川君(平成21年卒会)が引き受けてくれることとなりました。皆様には多大なるご心配をお掛けしましたが、これで皆様にご不便、ご迷惑をお掛けすることも最小限で抑えられたのではないかと、まずは一安心しております。

「さよならだけ」ではないと言えば、菅原君が転勤先の札幌で人生2人目のパートナーと見事ゴールインしました。そのお祝いが7月14日にあり、中には久々に会う懐かしい顔と学生時代に戻って「勸酒＝酒を勧めあい」、杯を重ねたのは言うまでもありません(下写真)。これも稲吟会、そして稲吟OB会という、今流行りの言葉を借りれば「ソーシャル・ネットワーク」で繋がっているからこそだと思えます。そのようなネットワークを維持することが我々執行部の役割であるということを肝に銘じていきたいと思います。

さて、「現役あつてのOB会」という精神に則り、OB会執行部といたしましてはここ数年、現役支援に重点を置いてきました。安定的な会員獲得には時間がかかるかもしれませんが、引き続き皆様のご理解、ご支援を賜りたく存じます。また、8月25日(土)には恒例の現役・OB交流会もごぞいます。詳細を次頁にてご案内しておりますので、ご都合のつく方にはぜひご参加いただき、夏合宿を控えた現役諸君にエールをお送りいただきたく存じます。

この会報が皆様のお手元に届くころには梅雨も明け、厳しい日差しが照りつける夏本番となっていることと思います。原発再稼働の是非はともかく、去年に引き続き今年の夏も節電が求められていますが、皆様におかれましては夏の暑さによって健康を損なわれることがないように心よりお祈り申し上げ、ご挨拶と代えさせていただきます。



◆◆ News Flash ◆◆

## 稲吟会発表会は11月10日（土）、学内にて開催

今度の稲吟会の発表会は久しぶりに学内で開催されます！今年度の発表会は11月10日（土）に早稲田大学戸山キャンパス内の学生会館（図中星印部分・新宿区戸山1-24-1、tel 03-3203-4141；入り口は箱根山通り側、戸山キャンパスの中からは学生会館に入れません）で開催されます。12:30開場、13:00開演です。コンパに関する情報など、最新情報は、稲吟OB会のページ (<http://www.togin.org/alumni/>) にてお伝えしますので、更新情報をチェックしてください。

今回はOBが舞台上で吟を披露する演目を準備する予定とのこと、舞台上で久々に（？）詩吟を披露したいという方は、稲吟会の木嶋孝幸幹事長（E-mail [toginkai@gmail.com](mailto:toginkai@gmail.com)）までご連絡ください。客席と舞台の両方から、学資諸君に向けて熱い応援の声を届けましょう。



( <http://www.waseda.jp/bun/map/images/map011.jpg> )

## OBと学生の交流の場、今年も開催

OB会と稲吟会の交流の宴を今年も8月に新宿にて開催します。夏合宿に向けていよいよ意気あがる学生諸君に、さらにOBパワーを注ぎ込みましょう。出欠のご都合を同封のはがきにて、**8月18日(土)**までにお知らせください。お問い合わせは事務局・中川正章（平21、[mankgw@togin.org](mailto:mankgw@togin.org)）まで。

日 時：2012年8月25日(土)19時～  
会 場：ビヤレストランライオン 新宿ライオン会館（6F）  
住 所：〒160-0022 東京都新宿区新宿3-28-9（JR新宿駅 東口 徒歩3分）  
電話番号：03-3352-6606  
会場 URL：<http://r.gnavi.co.jp/g160501/map/>  
会 費：5,000円

## 稲吟会の夏合宿、今年は伊豆・相模屋で開催

発表に向けて力量を一層高めるべく、今夏も夏合宿が開催されます。場所は伊豆・弓ヶ浜、相模屋です。昭和～平成の年代のOB・OG諸兄にとっては毎年の春合宿の舞台だった、あの相模屋です！懐かしい相模屋に結集し、学生諸君を激励しましょう。コンパは金曜の夜です。

期 間：2012年8月28日（火）～9月1日（土）  
※8月31日（金）夜に、コンパを行います。

宿 泊 先：温泉旅館 相模屋

住 所：〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊 582

電 話：0558-62-0853

Web サイト：<http://www8.plala.or.jp/sagamiya/>

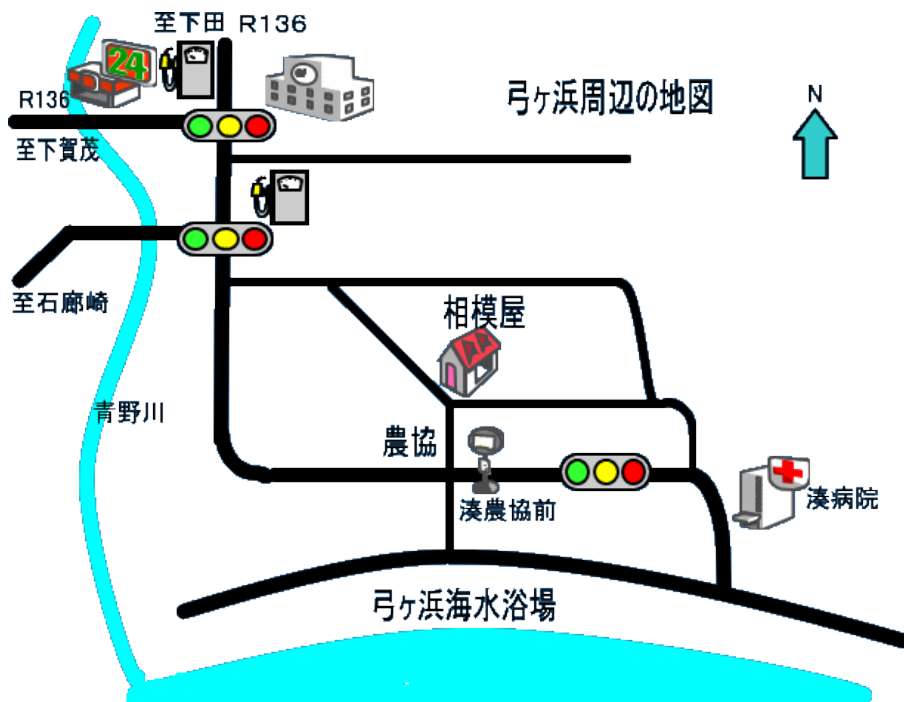
### アクセス

電車：伊豆急行 伊豆急下田駅より、東海バス石廊崎方面行「湊農協前」（約20分）下車

自動車：

東京方面より 東名高速厚木 I.C・小田原厚木道路経由、国道135/136号線で弓ヶ浜へ

大阪方面より 東名高速沼津 I.C・国道414号踊り子ライン経由、国道135/136号線で弓ヶ浜へ



( <http://www8.plala.or.jp/sagamiya/chizus.gif> )



◆◆ 頑張ってます！ 稲吟会だより ◆◆

## 幹事長、奮戦中！

稲吟会第57代幹事長・会計幹事 木嶋孝幸（商3）

早稲田大学第57代執行部幹事長の木嶋孝幸です。梅雨なのにあまり雨が降らず、蒸し暑い日々が続いておりますが、OB・OGの諸先輩方におかれましては、ますますご健勝のことと思います。

最近の早稲田キャンパスは、3号館の改築のため、ちょっと狭いです。改築とはいうものの、一年以上手をつけずに放置したままです。計画自体は出来上がっているようですが、戸山キャンパス同様、行政と折り合いが付いていないのだろうと勝手に想像しています。歴史ある3号館をつぶす勇気があるのなら、15号館や7号館の建て替えをしてもらいたいと思っていたりします。最近になって、（新）学生会館の10階にある部室から、東京スカイツリーのライトアップがちらりと見えるようになりました。OB・OGの皆さんにとっての早稲田の風景と、我々にとっての早稲田の風景は、さぞかし違うのだろうと想像しています。

さて、話を稲吟会に戻します。

お陰様で、今年は1年生4人と2年生1人を新たに迎えることができました。現在、現役世代は4年生3人、3年生1人、2年生3人、1年生4人で活動しております。4年で早稲田を卒業するには物足りないと感じておられる方も、たまに活動に顔を出してくださいますが、やはり人数が少ないかなと思う時があります。

新入生達は皆、詩吟に対して真摯に向き合ってくれて、指導をしている私としても、とてもうれしくやりがいを感じております。既に1本では物足りないと漏らすこともあり、上達の早さとポテンシャルの高さに驚いています。うかうかしているうちに、抜かされてしまいそうです。

今年度いっぱい、長年稲吟会の会長を務めてくださいました教育学部の石堂常世先生が定年退職なさります。12月ごろに、石堂先生の送別会を行う予定です。詳細が決まり次第お知らせいたします。

今年も電力が不足する恐れがあり、巷では節電グッズや冷涼を感じるものが売れているようです。我々は吟力が不足しないように（？）日々努力してゆく所存であります。今後ともご鞭撻いただきますようお願いいたします。



## 皆がいて楽しい稲吟会に！

稲吟会第57代副幹事長・渉外幹事 藍原泰園（文2）

稲吟会に入会し早1年余りが経ちました。この1年を振り返ると、様々な出来事がありました。まず思い出するのは合宿です。夏合宿は千葉の岩井海岸で行いました。当時自分はまだまだあまり詩吟や舞が好きになれず、長い練習の合間も常にサボることばかり考えていました。今思うと、よく先輩に怒られなかったと思います（笑）。しかし、練習の合間に海へ繰り出して、水泳の達人でもある大川先生の指導の下海を泳ぎまくったのは最高の思い出です。

また、始めはしんどかった吟錬や舞錬にも次第に慣れてきて、最終日になると自分の上達には驚きま



した。またこの経験を経て詩吟の魅力、奥深さに気づけたことはその後の稲吟会生活を送る上で非常に重要な出来事でした。

それから発表会を無事に終え執行部交代となったのですが、人手不足のため自分も執行部に入ることとなりました。正直当初は自覚が全然無く、無為に過ごしていたのですが、春合宿を終え一年生が入るころになると幹部としての責任を感じるようになりました。現在は2年生として下と上との板ばさみでいろいろ葛藤する日々ですが、稲吟会を盛り上げていくために日々模索しています。

現在の稲吟会の一番の課題は人を増やすことです。人あつての稲吟会です。60年近く続いた伝統ですので、それを途絶えさせないためにも積極的に勧誘活動などを続けて生きたいと思います。また日々の練習やコンパなどで会員の結束を強め、皆がいて楽しい稲吟会にしていきたいです。現役が少ない分、今後はOBの方々に頼る場面がより多くなると思います。もちろん私たちもOBの方に頼るばかりではなく、各々の責任を果たしていきますので、これからもよろしくお願ひいたします。

## 詩吟との僥倖の出会い

中山祐輔（文1）

はじめまして。早稲田大学文学部1年、並びに稲吟会新人、中山祐輔と申します。OB会報に寄せて1年生を代表して、誠に僥倖ながら稲吟会との馴れ初めなどを書かせて頂きたいと思います。

私が初めて稲吟会を知ったのは、4月2日の学部入学式の日でありました。大隈講堂を出て、東西線早稲田駅に向かう途中、黄色い看板を持った先輩からビラを頂いたのです。そのビラはなかなか立派な物で、大量に頂いた多くのビラの中でも一際目立っておりました。そして、そこで何より剣舞の二文字に私の目は惹かれました。

そもそも私は中学高校と剣道部に所属していて、大学に入っても何か剣に関わっていたいと考えて下りましたので、これは正に僥倖だと感じたのです。これは私の求めていたものだ、と思いビラの連絡先に連絡をとらせていただき、晴れて入会ということになりました。しかし、その時点で私は全く「詩吟」については無知でありました。

しかし、まだ3ヶ月程であります、吟の練習をしまして、今ではその魅力にとりつかれております。元来声を出すのが好きな性質で、詩吟というのは私のそんな性質にぴったりマッチしているように感じます。また舞は、剣扇舞両方を私はやらせていただいておりますが、その深い世界に魅せられております。今は吟の練習が楽しくて仕方ありません。私は稲吟会での生活に大変な充足感を感じております。

正直詩吟は大学生の中で市民権を持っているとは言い難いものではありませんが、しかし、青春を捧げるに十分に値すると私は考えております。多くの偉大な稲吟会のOB先輩方に、顔向けできる立派な稲吟会会員になれるよう日々精進していく所存であります。



◆◆ OB近況 ◆◆

## Boston life

田口勝徳（平6）



こんにちは。平成6年卒の田口です。何とこの原稿を今アメリカのBostonで書いています。というのも今年の2月に突然アメリカで語学研修を受けるよう社命が下り、5月の末には渡米してまいりました。この度会報の原稿を書く機会をいただきましたので、ボストンでの生活などをご紹介させていただこうと思います。

BostonはNew Yorkのやや北東に位置し、New Yorkからは飛行機で約1時間、電車で約4時間くらいかかる場所です。日本からはこれまで直行便がなかったのですが、今年の4月からJAL便が就航し、約13時間で到着します。英語がま

ったくダメな私にとっては乗り換え無しで来ることが出来てラッキーでした。こちらではホームステイをしており、この年齢でホームステイ？ というのもやや不安がありました。幸いにもファミリーはとても親切で食事も美味しく、特にプライベート面で干渉されることもないので食事付きの下宿先といった感覚でしょうか。というのもこの家では合計6名もの学生がステイしており、こちらでもやや多い方の部類に入りますが、アメリカでは複数名の学生を受け入れる家庭も多く、一つの収入源として捉えている家が多いようです。ただ、私の場合はたまたま恵まれたステイ先に当たりましたが、クラスメイトの話を知ると、食事の時間や内容に不満があったり、シャワータイム（1回5分まで、22:00以降禁止など）、洗濯する洋服の色にまで制限があるなどやや不自由な生活をしている人もいます。私のホームステイ先で一つだけ不安を挙げるとすればエアコンがないことでしょうか。Bostonは冬は-10℃を下回るほど寒さが厳しいところですが、夏はやはりそれなりに暑くなるようです。今のところ扇風機だけで何とか過ごしていますが、これから夏本番を迎えるとどうなるのかやや不安なところではあります。

さてこちらについては初日にクラス分けテストが行われ、各自のレベルが見極められるのですが、私の場合は何とも情けないレベルからのスタートとなりました。私の学校は、自分と同じように日本企業から派遣されてくる方も何人かいるのですが、来る前からTOEICで800点以上もある強者もおり、レベルの違いに愕然としながらも、これも学生時代に勉強をしなかった報いと受け止めています。ちなみにやはり英会話力はTOEICの点数とは比例せず、conversationとlisteningでは???点の私と大差ないようなのがせめてもの救いです。



その後こちらでまずやらなければならなかったのが銀行口座の開設と携帯電話の取得。どちらも英語がまったく出来ない私にはかなりの難問です。当然出国前にインターネットにかじりついてリサーチし、日本にいながらも銀行口座を持てたり、アメリカ版の携帯電を契約することも出来ることがわかりましたが、我が社では現地で自分でやってみるのも研修の一つであるとお達しがあり、仕方なく初日のテスト後に銀行へ向かいました。「I want to open my



account…」と、思い切りカタカナ英語で会話して何とか口座を開設し、口座残高などを確認するためにインターネットバンキングも出来るようにしてもらったもののここでトラブルが発生。開設時に対応してくれた行員がとても親切な人で、インターネットバンキングのアカウントも設定してもらったのですが、さすがにパスワードは後で自分で設定しなければならないので家に帰ってからやってくれと、初期ID名と仮パスワードを紙に書いて手渡されました。家に帰ってから早速その紙に従ってログインを試みたものの、何故か「あなたのIDはありません…」という内容の表示が。何度やってもログイン出来ず、とても電話で問い合わせる自信はないのでパニックになりかけたところ、「困った時はこちらへ」というようなボタンを発見。これがリアルタイムで会話するチャット形式の問い合わせでしたので文章なら何とかなるかもしれないと思いトライしてみたところ、何とか状況が伝わり、調べてもらいました。その結果、何と設定してもらったIDが紙に書いたものと違っており、私の名前である「kat\*\*\*\*\*」ともらった紙には確かに書いてあったのですが、登録は「a」が抜けた「kt\*\*\*\*\*」となっていることが判明。銀行員がまさか間違えるとは思っていなかったもので、これも American などと早速実感した場面でした。



その他アメリカでの日常生活で感じた点を何点かご紹介したいと思います。まず私の学校ではブラジルからの留学生がとても多く、彼らは約1カ月のvacationを利用して自費で語学留学に来ています。驚いたのは若い人だけでなく家族のある人も単身で留学に来ており、英語習得の意欲が高いことです。1週間の休暇を取るのも難しい日本では考えられないことでしたが、日本でもいつか長期の休暇を取って、各自が様々な経験を積めるような社会になることを期待したいと思います。その他には、アメリカでは飲酒には厳しく21歳未満の飲酒が禁じられて

いるのですが、MLBの野球場でビールを買うのにも必ず全員がID(身分証明書)の提示を求められるし、Barなどのお店では入店時にIDを見せなければ入れないこともありました。路上でお酒を飲むことも出来ず、この前行ってみたfestival会場でもアルコールは売っていませんでした。また、外出時のトイレ事情が日本ほど便利ではないのが不自由な点でしょうか。駅に必ずトイレがあるわけでもなく、街でよく見るコンビニやドラッグストアでもお客が使えるトイレはまずありません。Starbucksなどの飲食店でも使用する際に鍵または暗証番号が必要なことが多く、誰でもどこでも気軽にトイレが使える日本とは事情が異なります。

こんな感じでこちらで生活してみると、やはり日本とは様々な点で文化が異なることを少しずつ感じています。まだ暫くこちらにいますので他にもいろいろと経験し、帰国した際にはまたお酒を飲みながらでも皆さんとアメリカ談義を交わせることを楽しみにしています。



◆◆ 事務局から ◆◆

## 会員近況情報

OB会員名簿正誤 お手元の名簿（2010年度版）について、以下の3件を修正ください。

名簿の内容について変更などありましたら、[meibo@togin.org](mailto:meibo@togin.org) までお知らせください。

## 年会費の納入にご協力ください

会員の皆様には年会費（5,000円）の納入をお願いしております。卒業後3年間は4,000円です。まだお支払いでない方は下記の口座にお納めください。

各位の会費納入実績につきましては、稲吟OB会事務局会計幹事の板倉真介（平10）に電子メール（[kaikai@togin.org](mailto:kaikai@togin.org)）もしくは往復はがきにてお問合せください。往復はがきの場合は、ご自身の氏名、住所、卒業年度を返信面に記入の上、板倉までお送りください。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。お答えできるのは、お問合せを頂いたご本人の納入実績に限ります。

口座名 早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740  
《他の金融機関からの振込の場合…》  
ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）、店番 019、  
店名 〇一九（ゼロイチキユウ）店、預金種別 当座、  
口座番号 0061740、受取人名 ワセダダイガクトウギンOBカイ  
年会費 5,000円

恐れ入りますが振替／振込手数料はご負担ください。





#### ■裏表紙解説

改修が進むのは本部キャンパスばかりではありません。戸山キャンパスでも建て替えが進んでいます。かつて「国連ビル」の愛称とともに親しまれた（第一）研究棟も、解体が終わり新しい研究棟が姿を見せつつあります。

#### ～ 編集後記 ～

この度、二度目の出戻りで会報を編集することになりました。リソグラフで印刷していた頃と違い、カラー冊子の編集はまったく勘がつかめず、前号を頼りにしながら手探りの会報作りとなりました。／思えば菅原さん・田口さんにおおかた引き継ぎも終わりのんびりしていたところに、お二人の急な転勤・研修の報。そんなわけで、急きょ「出戻った」次第です。タイトなスケジュールでお願いしたにもかかわらず原稿を寄せてくれた田口さんや稲吟会の皆さんにお礼を申し上げます。／入稿直前の7月14日には菅原均さん・美樹さんのご結婚も。お二人のお幸せな写真を数葉だけ紹介して今号の結びにしたいと思います。若干公私混同気味ですが、お許しを。お二人の幸せな未来をお祈りします。（たかはし）







発行：2012（平成24）年8月1日  
発行者：早稲田大学稲吟OB会事務局

編集発行責任者：高橋 優（稲吟OB会事務局）  
早稲田大学稲吟OB会会報 通巻第36号

稲吟会ホームページ <http://www.togin.org/>  
稲吟OB会 <http://www.togin.org/alumni/> 稲吟会 <http://www.togin.org/toginkai/>